

# 官報

號外

明治三十一年十二月十三日 火曜日

印刷局

## 第十三回 衆議院議事速記録第六號

明治三十一年十二月十二日(月曜日)午後一時八分開議

議事日程 第五號 明治三十一年十二月十二日

午後一時開議

- 第一 軍機保護法案(政府提出)  
第一讀會
- 第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
第一讀會
- 第三 臺灣陸軍軍法會議法案(政府提出)  
第一讀會
- 第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
第一讀會
- 第五 事業公債及鐵道公債特別會計法案(政府提出)  
第一讀會
- 第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
第一讀會
- 第七 債金ヲ公債費途ヘ繰替運用ニ關スル法律案(政府提出)  
第一讀會
- 第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
第一讀會
- 第九 債金特別會計法中改正法律案(政府提出)  
第一讀會
- 第十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
第一讀會
- 第十一 明治二十三年法律第十四號廢止ニ關スル法律案(政府提出)  
第一讀會
- 第十二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
第一讀會
- 第十三 葉煙草專賣資金會計法廢止ニ關スル法律案(政府提出)  
第一讀會
- 第十四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
第一讀會
- 第十五 造幣局据置運轉資本増加ニ關スル法律案(政府提出)  
第一讀會
- 第十六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
第一讀會
- 第十七 北海道官設鐵道用品資金會計法案(政府提出)  
第一讀會
- 第十八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
第一讀會
- 第十九 作業會計法中改正法律案(政府提出)  
第一讀會
- 第二十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
第一讀會
- 第二十一 作業會計法中改正法律案(政府提出)  
第一讀會
- 第二十二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
第一讀會

議長(片岡健吉君) 是ヨリ報告ヲ致シマス

(寺田書記官朗讀)

內務省土木局長田邊輝實君ハ內務省所管事務政府委員仰付ラレタル冒山縣內閣總理大臣ヨリ通牒アリ  
貴族院ヨリ官吏遺族扶助法中改正法律案及千葉縣茨城縣境界變更法律案ヲ

衆議院議事速記録第六號

明治三十一年十二月十二日

議長ノ報告

送付セラレタリ

貴族院ハ本院ノ送付ニ係ル明治三十一年度特別會計歲入歳出豫算追加案(特追第三號)ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒アリ  
高木正年君ヨリ臺灣匪徒鎮定ニ關スル件ニ付質問書ヲ提出セラレタリ特別委員長及理事左ノ適當選セラレタリ

所得稅法改正法律案委員長

同理事

酒造稅法中改正法律案外五件委員長

同理事

關稅定率法及同法附屬輸入稅表中改正法律案委員長

同理事

同理事

間接國稅犯則者處分法中改正法律案委員長

同理事

葉煙草專賣法中改正法律案外一件委員長

同理事

營業稅法中改正法律案委員長

同理事

印紙稅法案委員長

同理事

水害地方地租特別處分法案委員長

同理事

特別委員左ノ通指名セリ

葉煙草專賣資金會計法中改正法律案委員

西田 收三君 磯部八五郎君

島山 雄三君 內田 雄藏君

秋保 親兼君 赤土 亮君

地租條例中改正法律案外一件委員

中村 彌六君 武富 時敏君

高岡 忠鄉君 喜多川 孝經君

松島 廉作君 高木 正年君

鞍谷 清慎君 大岡 有造君

阿部 典人君 內藤 正義君

坂本 金彌君 富永 準太君

堀田 連太郎君 井手 毛三君

瀧口 歸一君  
秋山 元藏君  
大津 淳一郎君  
金井 貢君

神輿 知常君  
佐藤 琢治君  
三橋 四郎次君  
宮原 幸三郎君  
藤 金 作君  
鈴木 文三郎君  
島田 三郎君  
河口 善之助君  
星松 三郎君  
佐藤 伊助君  
市島 謙吉君  
堀越 寬介君

脇坂 行三君  
望月 圭介君  
和泉 邦彦君  
齋藤 卯八君  
伊達 文三君  
田村 順之助君  
秋岡 義一君  
山本 幸彦君  
利光 鶴松君  
板東 勘五郎君

柴 四 朝君 門脇 重雄君 深尾 龍三君  
福田 久松君 森 東一郎君 前川 慎造君  
行政裁判法中改正法律案外一件委員  
利光 鶴松君 大須賀庸之助君 林 喬君  
丸山 蟠一郎君 木村 格之輔君 望月 長夫君  
西原 清東君 高梨 哲四郎君 松尾 又雄君  
(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

臺灣匪徒鎮定ニ關スル質問書

臺灣ノ我カ帝國ノ範圍ニ入ル既ニ五年未タ全ク此ノ匪徒ヲ鎮定スルニ至ラ  
ス之レ實ニ臺灣ニ於ケル我カ兵數ノ被レニ優勢ヲ與フルニアリトスルカ幾  
百ノ群衆十ノ侵襲哨兵之レヲ注セス兵機恆ニ彼レニ先セラル其狀朝鮮政府  
カ土匪ニ困ムト毫モ異ナルナキノ觀アリ三十二年度ノ豫算臺灣匪徒鎮定ノ  
一項アルヲ見ル而シテ當局者ノ談ニ依ルニ前々年度來豫算ノ不成立ニヨリ  
爲スノ費途ナク故ニ夫レカ費目ヲ來年度ニ掲クル所以ナリト果シテ然リト  
セハ臺灣總督府ハ優ニ一師團半ノ兵ヲ持シテ之レ等少數ノ匪徒ヲ鎮定スル  
能ナキナリ事アレハ則チ動ク之レ兵ノ軌況シヤ我國範圍内ニ於ケル騷擾ナ  
ルニ於テヲヤ今ヤ條約改正實施正ニ急ク三十二年以後ノ臺灣モ又其形勢ヲ  
改ムルノ日アラントス之レヲ其以前ニ鎮定セス反テ世界交通ノ後ニ於テ匪  
徒ノ暴起ヲ壓ヘントス之レ自ラ求メテ我國辱ヲ現スモノニシテ然カモ又其  
累ヤ國際問題ヲ招クニ至ルヲ保スヘカラス山縣總理大臣ハ身元帥府ノ長者  
ニシテ兵事ノ責其任タルヲ免カル、能ハサルナリ依テ質問ニ及ヒ候也

明治三十一年十二月十二日

提出者 高木 正年  
贊成者 寺田 彦太郎  
外三十二名

○議長(片岡健吉君) 是ヨリ會議ヲ開キマス

○高木正年君(百十四番) 質問書ヲ提出シテアリマスガ、參リマシテ宜シウ  
ゴザイマス

○政府委員(中村雄次郎君) 議長……

○議長(片岡健吉君) 政府委員中村雄次郎君

(政府委員陸軍次官中村雄次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(中村雄次郎君) 田中正造君ヨリ政府ニ質問ニナリマシタ事柄ニ  
就イテハ、何レ書面ヲ以テ政府ハ御答ヲ致シマスルデゴザリマスガ、一昨日  
ノ速記録ヲ見マスルト田中正造君ノ演說中、越ヶ谷ニ於テ將校ガ憲兵ヲ指揮  
シテ被害民ノ枕頭ヲ軍馬デ以テ蹂躪シタト云フ、即チ軍馬デ蹴散シタト云フ  
コトガ見エマスルデゴザイマス、是ハ事實無根デゴザリマスルカラ、是ダケ  
此處デ一言致シテ置キマス

(高木正年君演壇ニ登ル)

○高木正年君(百十四番) 大問題ノ前途ニ横ニ居ル今日ニ於テ、私ガ貴重  
ナル時間ヲ費シマシテ一場ノ質問演說ヲ致スコトハ、甚ダ諸君ニ對シテ相濟  
マストハ思ヒマスルケレドモ、我國ノ外交ノ前途及國防ノ前途ニ就イテ、是  
非トモ茲ニ一言シテ諸君ノ注意ヲ喚バネバナラヌコトガゴザリマス、私ハ本  
年度ノ豫算ヲ審キマシテ陸軍ノ臨時部ノ或ル一項ヲ讀ミマシタキニ、一ノ  
考ガ浮出タノデゴザリマス、勿論今日ハ豫算ノ討論中デアラ、豫算其モ  
ノニ對シテノ質問ハ、更ニ後日ニ期シマスルガ、三十二年度ノ豫算ニ先立  
テ、今日ノ我國ノ國防若クハ外交ト云フモノニ對シテ、實ニ之ヲ默々ニ付ス  
ベカラザル一大現象ガアルト思フノデゴザリマス、如何ナル事ガ一大問題  
デアアル、如何ナル事ガ我國今日以後ノ前途ニ於テ注意セネバナラヌ事デア  
カト申シマス、私ガ此事ヲ氣付キマシノハ唯今申上グルガ如ク豫算ヲ審  
イタトキニ浮シタ一ツノ感情デゴザリマス、三十二年度ノ陸軍臨時費ノ中  
ニ臺灣ノ匪徒鎮定費ト云フコトガ書イテアルノデゴザリマス、其金高ハ甚  
ダ少キデアアルガ、是ニ於テ私ハ一考ヲ致シタノデゴザリマス、臺灣ノ匪徒  
何故今日ニ鎮定セズシテ之ヲ來年度ノ後ニ豫算ヲ求メテ、我政府ハ如何ニモ  
緩慢ニ如何ニモ彌縫ニ、或ハ新聞紙ニ述ベタル如ク財物ヲ與ヘテ彼ノ匪徒ヲ  
勸誘シ、其狀態ハ恰モ彼ノ降ヲ容ル、ニアラズシテ、吾ヨリ彼ニ向シテ和ヲ  
試ムト云フ如キ、臺灣ノ今日ノ弊政デアアル、振ハザルコトハ即チ斯ノ如キモ  
デゴザリマス、ソレ故ニ優柔不斷今日ニ於テ爲シ得ズシテ、徒ラ三十二  
年度ニ此事ヲ爲サントスルハ、抑、當局者ガ如何ニ臺灣ニ於テ眠レルカ、私  
ハ此一項ヲ讀ンデ、實ニ我國政ノ今日ノ如ク紊亂シ若クハ外交ノ振ハザルハ、  
即チ臺灣其モノ、整理ガ今日ニ成立タザルガ、一ツノ國威ヲ損スルノ土臺ト  
爲ツテ、將タツレヨリ進ンデ總テノ世界ニ侮ヲ受ケ、云フニ足ラザル臺灣ノ  
匪徒スラモ、我政府ヲ欺キ、我政府ヲ侮リ、是ニ心服セザルト云フコトハ、即  
チ臺灣ニ於ケル軍紀ノ如キ緩慢ナル所ヨリ致ス結果ナリト思フノデゴ  
ザリマス、一體臺灣ナルモノハ如何ナル地方デアアルカ、土匪ノ鎮定費デア  
ル、是ヲシテ彼ノ阿非利加ニ於ケル英國若クハ他ノ國ガ遠征軍ヲ發スル如キ  
費用トシテ掲ゲタナラバ、我輩ハ喜ンデ是ヲ讀ムノデゴザリマス、サリナ  
ガラ苟モ我國ノ版圖ト爲ル今日、直ニ此事ノ整理ガ出來ナイデ、看スノ匪  
徒ノ猖獗ヲ見棄テ、來年度ノ豫算ニ求メテ此事ヲ實行セヌト云フコトハ、  
即チ我國ノ現在ノ空氣ガ如何ニ腐敗セラレテアルカ、東洋ニ於ケル我國威ガ  
如何ニ毀損セラレ、カ、此一段ヲ見テモ我軍人ノ氣慨ナイコトハ、最モ明白ニ  
分ル所ノコトデハゴザリマセヌカ、私ハ徒ラニ中央ノ政治ニ此事ヲ引附ケテ、  
無用ナル攻撃ヲ爲スノデゴザリマセヌガ、サリナガラ總テナル外交、總テナ  
ル局面ニ我國威ノ一向振ハザルハ、已ニ我邦ノ版圖ニ歸シタル臺灣スラスノ  
如キコトデアアルト云フコトガ、慥ニ一ツノ土臺ト爲ツテ、我外交ノ局面ハ是ヨ  
リ紊ル、ノデゴザイマス、是ニ就イテ私ノ承リマスル所ニ依リマス、何

故三十二年度ノ豫算ニ求ムルノデアルト云フコトヲ申スノデゴザイマス、  
サウ致シマスルト當局者ノ言ヘラク、年々歳々豫算ハ不成立ニ爲テ已ムヲ  
得ズ臨時費ニ求メネハナラヌガ、ツレ故ニ本年ニ於テ十分ノヲ成シ遂グルコ  
トガ出来得ズシテ、已ムヲ得ズ三十二年度ノ豫算ニ匪徒鎮定費ナルモノヲ  
出シタノデアルト申スノデゴザイマス、若シ之ヲ爲シ得ベケンバ強チ三十二  
年度ノ豫算ニアラズトモ、即チ三十一年度ノ臨時費ニ求メ、之ヲ鎮定スルノ  
何ノ難キコトカアルノデゴザイマス、新聞紙ニ書キタル所ノ匪徒ニ就イテ財  
寶ヲ與ヘテ彼ニ和ヲ請フニ至リシハ、即チ斯ノ如ク軍人ノ腐敗シタヨリ來  
ル結果デゴザイマス、先ツ外交ノ局面ヲ一新セントセバ、第一ニ我版圖ニ入ッ  
タ所ノ臺灣ヲ整理セネバナラヌノデゴザイマス、一師團半ノ兵ニ於テ今日  
ノ新聞デゴザイマス、政府ハ以來ハ此制度ヲ廢シテ今少シ少數ノ兵ヲ以テ  
臺灣ヲ整理スベシト云フコトヲ今日ノ新聞ニ掲ゲテアッタノデゴザイマス、  
サリナガラ現在ノ一師團半ノ兵デスラ彼ノ匪徒ナルモノヲ鎮定スルコトガ出  
來ナイデ、是ヲ來年ニ求ムト云ハ、臺灣今日以後ノ兵制ハ如何ニ整ルベキ  
カ、如何ニ吾々ハ前途我國辱ヲ外國ニ晒スコトヲ爲スノ日アルカ、思茲ニ至  
リマスレバ吾々ハ戰慄シテ此豫算ヲ迎ヘネバナラヌノデゴザイマス、其費額  
ハ僅ニ何万圓、是ヲ臨時費ニ求ムルモ爲シ得ルコトデゴザイマス、是ヲ臨時費  
以外ニ陸軍ガ既往ノ計畫ノ間ニ於テ之ヲ爲スコトモ出來ルノデゴザイマス、  
何故臺灣ノ總督府ハ豫算ナキヲ名トシテ之ヲ鎮定シナイノデゴザイマス、  
抑、兵ナルモノハ機ヲ見テ動カネバナラヌ、假令豫算ナクモ臨時ニ匪徒ガ  
鎮定セネバナラヌコトガアルナラバ、何故責任ヲ有ッテ臺灣總督府其モノヲ  
組織スルノデゴザイマス、徒ラニ此他ノ行政官ノ河川ノ修築デモ或ハ堤防ノ  
普請デモ爲スガ如ク、豫算ナキヲ名トシテ之ヲ今日ニ緩慢ニ付シ、或ハ吾自ラ  
和ヲ請フガ如キ形ヲ成シテ我國辱ヲ外國ニ示スト云フハ、抑、何事デゴザイ  
マス、諸君モ知ラル、ガ如ク臺灣ハ我内地ト氣候ヲ異ニスルノデゴザイマ  
ス、恐ラク三十二年度ノ豫算ニ求メタ以上ハ、彼ノ所謂四月五月所謂霖雨ノ  
候ヲ避ケテ勢十月以後ノ冷氣ナル時ニ此事ヲ爲サネバナラヌノデゴザイマ  
ス、然レバ其名ハ三十二年ノ豫算デアッテモ、其實ハ三十三年ニ跨ッテ是ガ鎮  
定ヲ爲シ得ベシトセバ、陸軍ノ緩慢ヤ實ニ其極ニ達シタリト云ハネバナラヌ  
ノデゴザイマス、私ハ先刻申スガ如ク中央ノ陸軍其モノニ就イテ攻撃ヲ致ス  
ノデハゴザイマセヌ、サリナガラ幸ニ山縣總理大臣ハ所謂元帥府ノ帷幄ノ長  
タル人デゴザイマス、此人ニシテ軍隊ノ組織、此人ニシテ軍紀ヲ支配シ、此  
人ニシテ内閣ニ長タル時ニ於テ、斯ノ如キ一大件事ヲ而モ我國ノ新ナル試驗  
場タル臺灣ニ示スニ至ッテハ、吾々何ヲ可言ハン、陸軍ノ十四師團ノ兵、陸  
軍ノ既往ニ於ケル六七師團何ノ時ガ軍紀ガ正シカリシヤ何ノ時カ我軍紀ヲシ  
テ正確ナラシムルコトガ出來得ルノデアルカ、徒ニ軍ノ數ヲ唱ヘ、徒ラ  
ニ軍旗ノ數ヲ増シ、却ッテ其實我邦ノ兵ヲシテ腐敗タラシムルモノハ、兵其  
モノ、罪デナイノデゴザイマス、是ヲ預ル所ノ即チ總督府其モノ、罪デゴザ

イマス、遼東半島ノ事、威海衛ノ返付一トシテ我邦ノ外交ハ失敗ニ失敗ヲ  
重ネザルコトハナヤ、重ヌルコトデゴザイマス、私ハ徒ニ其人ニ就キ、其  
黨ニ就イテ、既往ノ外交ヲ褒貶スルモノデゴザイマセヌ、恐ラクハ我國ハ外  
交部面ヨリハ何レヨリ考ヘテモ何レヨリ經驗シタツテモ、總テナル當局其モ  
ノハ孰モ外交ノ手腕ヲ過ッテ居ルノデゴザイマス、或ハ手腕ヲ有セザルノデ  
ゴザイマス、彼ノ露國ノ牛莊ニ於ケル今日ノ形勢、何故ニ斯ノ如ク彼ヲシテ  
殆ト自國ノ領地タラシムルガ如キコトヲ東洋ノ一大關門タル、即チ金州半島  
ヲ斯ノ如クナラシメタノデゴザイマス、思フニ威海衛ヲシテ自ラ我機ヲ失フ  
テ英國ニ是ヲ與ヘタノガ、即チ一ツハ英國ノ失敗ト爲ル、是ニ就イテ我國威  
ヲ損スルコトノ一大起原ヲ遼東半島還付以後ニ作ッタノデゴザイマス、凡ソ  
外交ハ彼ノ均勢ナルモノガ、一大抵抗力ヲ有ツモノデゴザイマス、英國ヲシテ  
威海衛ヲ保タザラシメタナラバ、即チ旅順ニ於ケル露國今日ノ形勢、若クハ  
牛莊其他金州ニ於ケル露國ノ舉動ハ、英國ガ之ヲ制スルコトガ出來ルデゴザ  
イマス、或ハ大連灣ヲ開港場ト爲シ、或ハ其他ノ手段ヲ以テ是ヲ爲シ得ベ  
キデアッタガ、既ニ英國ハ威海衛ナルモノヲ取ツタメニ、此間ニ均勢ヲ生  
ジテ英國スラモ強チ露國ニ向ッテ非難ヲ試ルコトガ出來ナイ、所謂占領上ノ  
平均ヲ得ルガタメニ此過失ヲ爲サセタノハ、即チ日本ガ依然外交手腕ヲ過チ  
來ツタ結果デゴザイマス、何レノ黨派ニ就イテ云フニアラズ、總テナル外交ガ  
失敗セリト云フハ、即チ此事デゴザイマス、サリナガラ尙ホ是ヲシテ一言言  
ハシメバ、金州ニ於ケル我國威ノ揚ラザルト、山東ニ於ケル我國威ノ揚ラザ  
ルハ、實ニ新ニ得タル即チ我國ノ文明ノ試驗場タル臺灣ノ整理セザルハ一太  
原因デアリマス、是ニ依ッテ我國威ヲ損シ世界環視ノ間ニ於テ我國辱  
ヲ永遠ニ外國ニ示スコトヲ爲シタノハ、取リモ直サズ臺灣今日ノ行政ノ腐敗、  
兵制ノ修ラザルガ、即チ一大根柢ヲ爲スモノデゴザイマス、明年ハ條約改正  
ガ全ク其終ヲ告ゲテ、内地雜居モ七月一日ヨリ來ルノデゴザイマス、何故ニ  
臺灣ノ總督府ハ内地雜居ノ始ラザル以前ニ於テ臺灣ノ匪徒ヲ整理バル責任ヲ  
有セザルカ、手腕ヲ有セザルカ、將タ之ヲ爲サザルカ、是レ吾々ガ諸君ト共ニ  
大言シテ當局者ノ責任ヲ責メ、之ガ實行ヲ促サント致シタ趣意デゴザイマス、  
願ハクハ將來ニ於テ我國ノ辱ヲ、所謂或ハ支那ノ暴民ガ彼ノ教徒ヲ殺シ、或  
ハ種々ナル亂暴ヲ爲スガ如ク、臺灣匪徒ガ一タビ雜居ナリタル以後ニ於テ、  
斯ノ如キコトヲ爲シタナラバ、諸君如何デアアル、今日ハ支那内部ノ變亂ハ、直  
チニ延イテ其離形ヲ臺灣其モノ、内地ニ示サネバナラヌノデゴザイマス、斯  
ノ如ク考ヘ來リマスレバ、臺灣匪徒ノ鎮定ト云フコトハ、實ニ今日ニ於テ一  
大急務デアッテ、今日以後ニ萬一之ヲ爲シ得ルコトガ出來ズ、或ハ之ヲ延シ  
テ徒ラニ其匪徒ノ猖獗ヲ恣ニセシメ、延テ外交問題ヲ引起スガ如キコトガ  
アッタナラバ、我國威ハ果シテ如何デアアル、獨リ我國威ノ潰サル、ノミナラ  
ズ、將來ニ於ケル總テナル屈辱總テナル損害、況ヤ十師團半ノ兵ヲ以テ今日  
ノ政府ハ、之ヲ爲シ得ルコトハ出來ナイト爲シタナラバ、先ツ第一ニ軍紀ノ

ノ矯正ヲセネバナラヌ、軍人ノ氣質ヲ一洗セネバナラヌ、我國民ハ之ニ向テ一大打擊ヲ與ヘテ、速ニ是等不潔ナル是等醜キ所ノ總テノ舉動ヲ矯正スルノガ、今日我軍隊ノ増加ヲ求メルヨリモ一大急務デアラト思フノデゴザリマス、吳モ今日以後ニ於テ我外交ノ局面ヲ一新セントスレバ、先ヅ臺灣行政ノ整理、臺灣ノ兵制ノ改革、臺灣軍人ノ腐敗ヲ矯正スルヨリ外ノ手段ハナシト、私ハ思フノデゴザリマス、是レ今日貴重ナル時間ヲ費シテ、諸君ノ面前ニ於テ其實際ニ於ケル私ノ感情ヲ述ベテ、聊カ今日以後ノ政治局面ニ諸君ノ注意ヲ仰ガントスル次第デゴザリマス、願ハクハ政府ハ是ニ向テ獨リ満足ナル答辯ヲ與フルノミナラズ、私ガ斯ク大言致ス事實ヲシテ、實際ニ其過ヲ示サヤランコトヲ、偏ニ望ム次第デゴザリマス

○議長(片岡健吉君) 議事日程ニ入ル前ニ諸君ニ御諮リスルコトガアリマスルガ、龍野周一郎君ヨリ都合ガアツテ第三部ノ理事ヲ辭任ヲシタイト云フコトヲ書面ガ出テ居リマス、之ヲ許シマシテモ異議ハアリマスマイカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト云フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ之ヲ許スコトニ致シマス、第三部ノ諸君ハ理事ノ選舉ヲ今日此議事ノ退ケタ後ニセラレンコトヲ希望致シマス——是ヨリ議事日程ノ第一軍機保護法案ノ第一讀會ヲ開キマス、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス

第一 軍機保護法案(政府提出貴族院送付)

軍機保護法案

第一讀會

—及小字ハ貴族院修正

第一條

動員出師國防其ノ他軍事上秘密ヲ要スル事項又ハ圖書物件ヲ知得シタル者ハ重懲役ニ處シ其ノ情輕キ者ハ一等ヲ減ス

第二條

職務ニ因リ軍事上秘密ヲ要スル事項又ハ圖書物件ヲ知得領有シタル者ハ他人ニ漏洩交付シ若ハ之ヲ公示シタルトキハ有期徒刑ニ處ス

第三條

偶然ノ原由ニ依リ軍事上秘密ヲ要スル事項又ハ圖書物件ヲ知得領有シタル者ハ之ヲ他人ニ傳説交付シ若ハ之ヲ公示シタルトキハ輕懲役ニ處ス

第四條

許可ヲ得シテ軍港要港防禦港又ハ堡壘砲臺水雷衛所其ノ他國防ノ爲建設シタル諸般ノ防禦營造物ヲ測量摸寫攝影シ又ハ其ノ狀況ヲ錄取シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ二圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第五條

因テ第一條ノ罪ヲ犯シタル者ハ一ノ重キニ從テ處斷ス

第六條

許可ヲ得ス又ハ詐僞ノ所爲ニ因リ許可ヲ得テ堡壘砲臺水雷衛所其ノ他國防ノ爲建設シタル諸般ノ防禦營造物内ニ入りタル者亦前條ノ例ニ從テ處斷ス

同シ

第六條 本法ニ規定シタル輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第七條 本法ノ罪ヲ犯シテ其ノ豫備ヲ爲シタル者ハ同條ノ刑ニ照シ二等又ハ三等ヲ減ス

第八條 本法ハ刑法第二編第二章第二節外患ニ關スル罪陸軍刑法第二編第一章反亂ノ罪海軍刑法第二編第一章反亂ノ罪ニ關スル規定ノ效力ヲ妨ケス

(政府委員陸軍次官中村雄次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(中村雄次郎君) 國防ノ事業モ追々整頓致シテ參リマス、軍事上諸般ノ計畫ト云フモノハ從ツテ秘密ヲ要シマスル今日、現行ノ法律ニ於キマシテハ戰時即チ敵ト云フモノガ出來マシタ後ニハ、ソレハ此軍事上ノ秘密ノ漏洩スルト云フコトヲ防グノ方法ガゴザリマス、然ルニ平時即チ未タ敵ト云フモノ、出來マセヌトキニ於テハ、此秘密ヲ保護スルコトガゴザリマス陸軍ノ刑法ノ第五條海軍ノ刑法ノ第八十四條ニ此取締ノコトガゴザリマスルバカリデ、此刑法ノ記シテゴザリマスル事柄ハ、軍事上ノ此秘密ガ既ニ漏スベカラザル所ニ漏レタ後始テ其處罰スルコトガ出來ルノデゴザリマス、此軍事上ノ必要ナル此秘密ガ漏レタ後トデナケレバ處罰スルコトハ出來マセヌ、即チ現行ノ法律ニ於キマシテハ未遂犯罪ヲ罰スルコト云フコトハ出來ナイノデゴザリマス、眞ニ此秘密ヲ——秘密ノ洩レマスルコトヲ防ガウト云フニハ、洩レタ後即チ危害ガ生ジタ後デナケレバ、處罰スルコトガ出來ナイト云フコトデハ、眞ニ防グト云フコトハ出來マセヌ、眞ニ此秘密ノ洩レルノヲ防ガウト云フナラバ、即チ洩レザル以前未遂犯罪ヲ罰スルコト云フコトガナケレバ、眞ニ洩レルコトヲ防グコトハ出來マセヌノデゴザリマス、而シテ現行法ニ於キマシテハ僅ニ輕罪ニ止マルノデゴザリマス、實ニ軍事上必要ナル、若シモ一朝事アルトキニ於テ此秘密ガ洩レテ居ツタナラバ、爲ニ全軍ノ勝敗ニモ關係シヤウト云フ、大切ナル事柄ガ洩スベカラザル處ニ洩レテ、危害ノ既ニ生ジタトキニ於テ、其處罰ハ僅ニ輕罪ニ止マルノデゴザリマス、ソレデ斯ノ如キ即チ現行法ニ於キマシテハ、到底軍事上ノ秘密ヲ洩レザル以前ニ於テ嚴重ニ守ルト云フコトハ、到底出來マセヌノデアリマス、ソレデ今日ハ軍事上實ニ此秘密ヲ守ルト云フコトガ、誠ニ緊要ナルトキデゴザリマス

○永井嘉六郎君(二十五番) 二五番

○議長(片岡健吉君) 質問デスカ

○永井嘉六郎君(二十五番) 質問デアリマス

○議長(片岡健吉君) 質問ナラバ其處カラ、質問ナサイ

○永井嘉六郎君(二十五番) 此法律ヲ發布スルト云フコトハ、總テ必要ニ迫ルカラシテ發布スルモノデアル、シテ見ルト軍機ノ屬、秘密ノ洩レタト云フ事實ガアルデゴザイマセウガ、此屬、洩レタト云フ事實ガ説明スルコトガ出來マスカ、或ハツレハ出來マセヌカ

○政府委員(中村雄次郎君) 洩レタト云フコトハ私ハ唯今申スコトハ出來マセヌ、洩レルノ恐ガゴザイマスカラ洩レル以前ニ於テ、此法律ヲ發シテ取締ラウト云フノデアリマス

○永井嘉六郎君(二十五番) 大キニ是ハ尤デアリマスガ、ツレハ……

(「發言ヲ許シタカ」ト云フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 二十五番——二十五番

○花井卓藏君(二百四十一番) 此軍機保護法ノ第二條ニ掲ゲラレテゴザイマスコト、陸軍ノ刑法ノ百二條ニ掲ゲテゴザイマスルコト、ハ、略々同様ナル規定デアリマス、然ルニ同一ノ事項ニ對シテ二様ノ規定ヲ爲スト云フ事柄ハ、法律ノ定則トシテ許スベキモノデナイ、勿論此軍機保護法ノ第二條ニハ、幾分カ陸軍刑法ノ百五條ト異ナル點ガゴザイマス、併ナガラ此第二條ニ書イデゴザイマスル末段ニ「之ヲ他人ニ漏洩交付シ若クハ之ヲ公示シタルトキハ有期徒刑ニ處ス」トアリマスノハ、陸軍刑法百五條ノ全文ト異ナル點ハナイト信ズル、同一ノ事件ニ對シテ二様ニ立法ヲ解釋スルノデゴザイマスガ、陸軍刑法百五條ヲ改メテ趣意デゴザイマスガ、立法ノ上ニ明ニ衝突ヲ見ルカラ御尋致シマス、ツレカラ第二ニ御尋致シタイ事柄ハ、軍機保護ノ規定ノ中ニ秘密ヲ要スル事項ト云フ事柄ガアリマス、秘密ヲ要スル事項ト書イテアル、要スル事項ト掲ゲラレテアル、法律ノ上ニ要スル事項ト爲スベキモノハ、法律ノ規定ヲ俟タヌケレバ、要スル事項ト云フ文字ハ掲ゲラレナイ、然ルニ秘密ヲ要スル事柄ヲ法律ノ明文ニ現スト云フ事柄ト、秘密ヲ守ル趣意ニ於テ出來難イト思フ、然ルニ此成案ノ中ニ秘密ヲ要スル事項ト書イテアレバ、陸軍海軍ニ於テ秘密ヲ要スル事項ハ、是レ々々デアルト云フコトヲ法律ノ規定ヲ俟テ確定シナケレバナラヌ必要ガアル、政府ハ此秘密ニ屬スベキ事項ハ斯ク々々デアルト云フコトヲ法律ヲ以テ新ニ明定スル 御趣意デアリマスガ、或ハ立法ガ拙ニシテ要スルコト云フ文字ハ左様ナ嚴格ナ文字デナイ、唯秘密ニ屬スベキ事柄デアルト云フ單純ナル意味カラ秘密ニナルヤ否ヤノ認定ヲ裁判官ガ持ツダケデアリマスガ、場合ニ依リマス認定ニ依ッテ是ダケノ事柄ハ秘密デアアルガ、是ダケハ秘密デナイト云フ分界ノ標準ト云フモノガ、法律思想竝ニ軍事思想ニ乏シキ人ノ認定スル場合ハ、往々過リ易イコトガアル、軍機保護ノ運用ヲシテ最モ正確ナラシメントスル軍事上ノ知識、法律上ノ知識、相俟ッテ裁判ノ局ニ當ル人デゴザイマシタラ出來マセウガ、法律ニ正シキ裁判官ガ軍事上ノ事柄ニ又詳シキモノトハ云ヘナイ、又軍事上ノ事柄ニ精密ナル軍人ガ法律ノ智識ニ堪能ナリトハ云ヘナイ、此事實ノ認定ハ實際ノ上ニ困難デアラウ、此點ニ就キマシテ如何ナル成案ガアリマスガ、ツレヲ承リタイ、

ツレカラ第三ニ承リタイノハ、軍機保護法ト申シマスルモノハ、陸軍刑法海軍刑法ヲ讀シテ見マスルト殆ド陸海軍ノ刑法ノ一種デアルト云ッテ宜イノデアル、然ルニ單行法律デ出テ居ルノデゴザイマスガ、此軍機保護法ナル單行法律ニ對シテハ、總則ト云フモノト云フモノガナケレバナラナイト思フ、之ヲ運用スル助法ガナケレバナラナイト思フ、此點ニ於キマシテ普通ノ刑法ノ如ク總則——單行法律ノ必要ガナイト云フ議論ガ出來ルカト思ッテ陸海軍ノ治罪法ヲ取調ベタ所ガ、刑法ノ運用範圍ノミニハ適用ガ出來ヌヤウニ考ヘル、是等ノ邊ハ如何ナル成案ヲ有セラレルカ、以上三點ノ御説明ヲ請ヒマス

○政府委員(中村雄次郎君) 唯今ノ御尋ニ對シテハ司法省ノ政府委員カラ御答致シマス

(政府委員司法省參事官石渡敏一君演壇ニ登ル)

○政府委員(石渡敏一君) 唯今ノ第一問デゴザイマス、是ハ此法律ト矛盾スル積デゴザイマスガ、無論陸海軍ノ刑法ガ消滅スルモノト思ヒマス、ツレカラ秘密ノ點デゴザイマスガ、是ハ確ニ秘密ノ事項ト直ツタト思ッテ居リマス、秘密ヲ要スルト始ニゴザイマシタガ、ツレヲ「秘密ノ事項」ト直シタト思ヒマス、文字ニ於テハ變ッテ居リマスガ、意味ハドチラデモ異ナリガナイト思ヒマス、此點ニ附イテハ先ヅ秘密ト云フモノガ一ツ極ラナケレバナラナイト思ヒマス、ツレハ極マルト云フ話デゴザイマスガラシテ、ツレニ依ッテ裁判所ハ裁判ヲ下スヨリ外ニ仕方ハナイト思ヒマス、茲ニ一ツ疑ノアルノハ、構ハズニ秘密デナイモノモ秘密トシテ發セラレル恐ガアルト云フ御話デアリマシタガ、ツレハアルカモ知レナイガ、ツレハナカラウト思ヒマス、詰リ正當ニ行フ所ノ陸海軍裁判所モ國ノ眞ノ秘密トスル所ヲ以テ罰スルヨリ仕方ガナイ、又罰スルダラウト思ヒマス、ドノ位ノ範圍ト云フコトハ、豫メ今日カラ御話スルコトハ出來マセヌ、ツレカラモウ一ツハ何ンデゴザイマシタ

○花井卓藏君(二百四十一番) 此法律ハ性質上陸海軍刑法ニ屬スベキモノト思フ、然ルニ單行法律デ出テ居リマス、矢張總則ガナケレバナラナイト思フ、ツレカラ之ヲ運用スル助法ガナケレバナラナイ思ヒマス、或ハ總則ハ陸海軍刑法ニ依ルベキ助法ハ陸海軍治罪法ニ依ルト云フカモ知レヌガ、普通ノ刑事訴訟法ハ一般ノ單行法律ニ適用ノ出來ル明文ガナイ、ツレデゴザイマスカラ是ハ刑法ノ原則デ往クトカ云フコトモ出來ナイ性質ノモノダラウト思ヒマス、特別ナル軍事ニ關スル刑事訴訟法デ……

○政府委員(石渡敏一君) 分リマシタ、是ハ必シモ軍律ト云フモノデハナイ、軍律ニ似寄ッテ居ルカト思ヒマス、第二條ニ「職務ニ因リ軍事上秘密ヲ要スル」トアルカラ軍事ノミニ當符マルノデナイ、第一條モ第三條モ軍人以外ノ人ニ當符マル、サウスルト普通ノ刑法ノ一部ダラウト思ヒマス、即チ今日ノ刑法ナルモノカラデナイ所ノ單行ノ一ノ刑事ノ法律ト思ヒマス、ツレデアアルカラ普通ノ刑事訴訟法ニ依ッテ處分シ、陸軍デハ陸軍治罪法、海軍デハ海軍治罪法ニ依ッテ處分スルト思ヒマス



○田中正造君(百十六番) 私ハチヨット闕席致シテ居リマシタガ、一昨日ノ私ノ質問ニ就イテ……

○議長(片岡健吉君) 田中君、一昨日ノコトナラ此議事日程ニ就イテ今質問中デアリマスカラ、發言ヲ許シマセヌ

○田中正造君(百十六番) イヤ、議長ニ對シテ申シテ置キマス、議論デハナ

○議長(片岡健吉君) 今ハ發言ヲ許シマセヌ

○田中正造君(百十六番) 議論ヲスルノデハナイ

○議長(片岡健吉君) 議論デナクトモ、議事日程ノ第一ニ就イテ質問中デスカラ、發言ハ許シマセヌ

○田中正造君(百十六番) 左様デスカ、イヤ、前ニ發言ヲ御許シニナッタノデゴザイマセウ——政府委員ニハ御許ニナッタノデゴザイマセウ、質問ニハ答辯書ヲ以テ答辯ヲシナイデ、嘘ガアルト云ッテ御許シニナッタ、田中正造ガ嘘ヲ吐クカ、大臣ガ嘘ヲ吐クカ比ベテ見ロ

○議長(片岡健吉君) 田中君、發言ヲ許シマセヌ

○田中正造君(百十六番) 議長ガ御許ニナッテ居ル

○議長(片岡健吉君) 許シマセヌ、發言ヲ許シマセヌ

○田中正造君(百十六番) 議長ハ政府委員ニ許シテ居ル、私ハツレニ就イテ……

○議長(片岡健吉君) 許シマセヌ

○田中正造君(百十六番) 田中正造ガ嘘ヲ吐クカ、陸軍大臣ガ嘘ヲ吐クカ、速記録ニ就イテ質問ヲ出スノダ

○議長(片岡健吉君) 許シマセヌ

○田中正造君(百十六番) 席ニ居ラナイトキニ、宜イ加減ノコトヲ云フ、亂暴狼藉ノ話ダ、ナゼ答辯書ヲ以テシナイ

○議長(片岡健吉君) 退場ヲ命ジマス、田中君ニ退場ヲ命ジマス

○田中正造君(百十六番) 至極結構デゴザイマス

(此時田中正造君退場ス)

○議長(片岡健吉君) 御質疑ガアリマセネバ、第二特別委員ノ選舉ニ移リマス

○西村淳藏君(六十二番) 恆松君ハ闕席デゴザイマスカラ、私ガ代理ヲ致シマス、委員ハ議長ノ指名デ九名ノ委員ト云フコトニ致シタイ

(笑聲起ル)

○議長(片岡健吉君) 九名ノ委員ヲ議長ガ指名スルニ異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(片岡健吉君) 異議ガナケレバ其通ニ致シマス

○門馬尙經君(百六十九番) 私ハ甚ダ些細ノコトヲ彼是申スノハ、自分ナガラ如何デゴザイマスガ、今恆松君ガ御出ガナイカラ代理ヲシテト云フヤウナ

コトヲ仰シヤッタガ、斯ルコトヲ神聖ナル議場ニ於テ云ハレルノハ、甚ダ怪シカラヌコト、思フ(「無用々々」ト呼フ者アリ)議長ハ田中正造君ノ發言ハ、或ハ其場合ヲ得ナイイカハ知ラヌガ、適當ナル言葉ヲ壓ヘテ一方ニ退場ヲ命ジ、一方ニハ斯ル諸君ガマシイコトヲ云フノヲ、打チヤッテ置クト云フハ、甚ダ權衡ヲ得ナイト思ヒマスカラ、議長ハ議場整理ノタメニ(「無用々々」ノ聲起ル)神聖ト秩序ヲ保ツガタメニ、御注意アラントコトヲ議長ニ望ミマス

(西村淳藏君答辯致シマセウカト呼ブ)

○議長(片岡健吉君) 御注意ナラ承ッテ置キマス——是ヨリ議事日程ノ第三ニ移リマス、議案ノ朗讀ヲ省キマス、政府委員中村雄次郎君

第三 臺灣陸軍軍法會議法案 (政府提出)

臺灣陸軍軍法會議法案

第一條 臺灣ニ陸軍軍法會議ヲ設ク

第二條 臺灣陸軍軍法會議ハ臺灣及澎湖列島ヲ以テ管轄ト爲シ其ノ構成權限及治罪ニ關スル諸般ノ手續ハ陸軍治罪法師管軍法會議ノ例ニ依ル

第三條 臺灣總督ハ臺灣陸軍軍法會議ニ關シ師團長ノ師管軍法會議ニ於ケルト同一ノ職權ヲ有ス

第四條 臺灣總督府陸軍幕僚副官ハ陸軍檢察ニ關シ陸軍治罪法第三十一條ノ諸官ニ同シ

(政府委員陸軍次官中村雄次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(中村雄次郎君) 現時臺灣ニ於ケル軍法會議ハ——陸軍ノ軍法會議ハ、明治二十八年勅令第九十二號ニ依リマシテ設ケマシタ臨時軍法會議デアリマス、然ルニ此臨時陸軍軍法會議ナルモノハ、合圍地ノ陸軍軍法會議ニ依ルモノデゴザイマシテ、平時ニ於キマシテハ此合圍地ノ軍法會議ヲ設ケテ置ク必要ハゴザイマセヌノデアリマス、臺灣ノ事情、今日ハ此臨時陸軍軍法會議ヲ設ケテ置ク必要ハ、最早ゴザイマセヌデアリマス、ツレデ、陸軍軍法會議ヲ廢シマシテ普通ノ軍法會議ヲ臺灣ニ設ケントスルノデアリマス、然ルニ陸軍ノ治罪法ニ於テハ、臺灣ノ如キ師管ヲ成シマセヌ所ノ地ニ、平時ニ軍法會議ヲ設ケルト云フコトハ、治罪法ニ明友ガゴザイマセヌガ故ニ、設ケルコトハ出來マセヌデゴザイマス、ツレデ是レ即チ本案ヲ提出致シマシテ御協賛アラントコトヲ希望シマス

○議長(片岡健吉君) 格別御質疑ガゴザイマセネバ、議事日程ノ第四特別委員ノ選舉ニ移リマス

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○議長(片岡健吉君) 九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名シマシテ異議ハアリマス

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

(六)

○議長(片岡健吉君) 異議ガゴザイマセネバ其通ニ決シマス——次ニ議事日程ノ第五ニ移リマス、議案ノ朗讀ハ省略致シマス政府委員阪谷芳郎君

第五 事業公債及鐵道公債特別會計法案(政府提出) 第一讀會

事業公債及鐵道公債特別會計法案

第一條 鐵道敷設法、事業公債條例及北海道鐵道敷設法ニ依ル公債金ノ會計ハ特別トシテ一般ノ歳入歳出ト區分スヘシ

第二條 公債募集金ヲ使用セントスルトキハ其ノ金額ヲ一般ノ歳入ニ組入

レ一般ノ歳出トシテ之ヲ拂出スヘシ

但シ償金特別會計資金ノ一時繰替金ヲ返償スル場合ニハ直ニ償金特別會計ノ資金ニ繰入スヘシ

第三條 公債募集金ノ毎年度内ニ使用セサルモノハ翌年度ヘ繰越スヘシ

第四條 公債ヲ以テ支辨スル事業完了ノ上公債募集金ニ剩餘アルトキハ一般ノ歳入ニ繰入スヘシ

第五條 政府ハ毎年公債特別會計ノ歳入歳出豫算ヲ調整シ歳入歳出ノ總豫算ト共ニ帝國議會ニ提出スヘシ

附則

第六條 本法ハ明治三十二年度ヨリ施行ス

第七條 鐵道公債會計法ハ明治三十一年度限り廢止ス

(政府委員大藏省主計局長阪谷芳郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(阪谷芳郎君) 唯今ノ日程デゴザイマセガ、是ハ説明書ニモゴザイマス通、極テ簡單ナルモノデゴザイマセテ、會計ノ組織ノ變更ニ關スルモノデゴザイマス、尙ホ此場合ニ於テ説明致シテ置キマスガ、本日ノ日程第五カラ二十二マデハ簡單ナル會計組織ノ整理ニ關スルコトデゴザイマスカラ、一々説明ハ致シマセヌ、尙ホ希望致シテ置キマスノハ、凡テ是ハ會計法ノ變更ニ關係スルコトデゴザイマスカラ、相成ルベクハ同一ノ委員ニ付託ニナルト都合ガ宜シイカラ、此コトヲ申シテ置キマス

(ソナナコトハ議院ガ勝手ニ極メル)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 格別質疑ガアリマセネバ議事日程ノ第六特別委員ノ選舉ニ移リマス

第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 九名ノ委員ヲ議長ガ指名シマシテ異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 異議ガナケレバ其通致シマス——今政府委員カラ求モ

アリマシタガ、會計法ニ關スル今日ノ議事日程ノシマヒマデヲ、同一委員ニ

付託スルト云フニ異議ハアリマスマイカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

明治三十一年十二月十二日 議事日程第五乃至第二十二ノ件

第七 償金ヲ公債費途ヘ繰替運用ニ關スル法律案 第一讀會

(政府提出)

第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第九 償金特別會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第十一 明治二十三年法律第十四號廢止ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第十二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第十三 葉煙草專賣資金會計法廢止ニ關スル法律案 第一讀會

(政府提出)

第十四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第十五 造幣局据置運轉資本増加ニ關スル法律案 第一讀會

(政府提出)

第十六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第十七 北海道官設鐵道用品資金會計法案(政府提出) 第一讀會

第十八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第十九 作業會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第二十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第二十一 作業會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第二十二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

償金ヲ公債費途ヘ繰替運用ニ關スル法律案

鐵道敷設法、事業公債條例及北海道鐵道敷設法ニ依ル公債募集金ヲ以テ支

辨スヘキ費途ハ市場金融ノ景況ニ由リ一時償金特別會計資金ヲ以テ繰替支

辨シ他日公債ヲ募集シテ之ヲ返償スルコトヲ得

償金特別會計法中改正法律案

第三條ニ左ノ一項ヲ加フ

第三條ニ左ノ一項ヲ加フ

償金ハ歲計上ノ都合ニ依リ國庫内他ノ會計部ヘ一時繰替運用ヲ爲スコト

ヲ得

明治二十三年法律第十四號廢止ニ關スル法律案

第一條 明治二十三年法律第十四號ハ明治三十一年度限り廢止ス

第二條 整理公債募集金ノ明治三十一年度末ニ於ケル現在金ハ一般會計ノ

歳入ニ繰入スヘシ

葉煙草專賣資金會計法廢止ニ關スル法律案

葉煙草專賣資金會計法ハ明治三十二年度限り廢止ス

北

造幣局据置運轉資本増加ニ關スル法律案

造幣局据置運轉資本ニ屬スル金地金ノ價格ヲ造幣價格ニ改算シ其ノ増加金額ハ之ヲ造幣局据置運轉資本ニ加フヘシ

北海道官設鐵道用品資金會計法案

第一條 北海道官設鐵道ノ用品ヲ購入貯藏シ其ノ運輸營業竝建設事業ノ需用ニ應スル爲北海道官設鐵道用品資金ヲ置キ特別ノ會計ヲ立テシム

第二條 北海道官設鐵道用品資金ハ五拾萬圓トシ必要ニ應シ漸次一般會計ヨリ繰入ス

第三條 北海道官設鐵道用品資金ノ會計ニ關シテハ明治二十六年法律第二號官設鐵道用品資金會計法ヲ適用ス

附則

此ノ法律ハ明治三十二年度ヨリ施行ス

作業會計法中改正法律案

作業會計法中左ノ通改正ス

第一條第三ヲ左ノ如ク改ム

第三 製鐵所

第二條ニ左ノ一項ヲ加フ

製鐵所据置運轉資本ハ四百五拾萬圓トシ漸次一般會計ヨリ繰入ス

附則

此ノ法律ハ明治三十二年度ヨリ施行ス

作業會計法中改正法律案

作業會計法中左ノ通改正ス

第一條第五ノ次ヘ左ノ如ク追加ス

第六 專賣局

第二條ニ左ノ一項ヲ加フ

專賣局据置運轉資本ハ明治三十三年四月一日現在ノ葉煙草專賣資金ヲ以テ之ニ充テ漸次増加シテ八百萬圓トス

附則

此ノ法律ハ明治三十二年度ヨリ施行ス

○議長(片岡健吉君) 異議ガナケレバ其通ニ決シマス——尙ホ念ノタメニ申シテ置キマスガ、御異議ガナイト云フニ就イテハ、此日程ハ凡テ第六ノ委員ニ付託シテ御異議ガナイノデアリマスカラ、サウスルト此日程ハ濟ミマシタ譯デアリマス

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(片岡健吉君) 今日ノ議事日程ハ濟ミマシタガ、諸君ニ御諮リ申スコトハ明日ノ議事日程ニ上スベキモノハ僅カ二三件シカナイノデアリマス、格別御異議ガナケレバ、明日ハ休會ト致シテ追ッテ議事日程ト會議ノ日限トヲ

御報道致シマス

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(片岡健吉君) 尙ホ御注意致シマスコトハ、特別委員ノ御方々ハ本會ハ休ミマシテモ、調査ハ續ケテ運バレンコトヲ希望シマス——ソレデハ、今日ハ是デ散會ヲ致シマス

午後一時五十九分散會